

Planning and Coordination

MACHINE TIME EXECUTION

REPORT ( 2005-4-2 CYCLE)

Experimental Group	T583	Reporter	横山 将志
Scheduled Period and Shift	Nov. 11–Nov. 18 20 shifts	Main, Sub, Para	Para

Experimenters 栗本、信原、横山、松岡、田口

SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS

T2Kニュートリノ振動実験の前置検出器に向け、光検出器とシンチレータの試験を行った。

光検出器としては、ロシア製のSiPMと浜松ホトニクス製のMPPC(Multi Pixel Photon Counter)の試作品を、実際の実験で想定しているのと同様のプラスチックシンチレータ+波長変換ファイバーという組み合わせで、マルチアノード型の光電子増倍管をリファレンスとして光量や安定性を比較した。

また、ロシア製の押し出し型シンチレータの試験も行った。

得られたデータの解析は現在進行中であり、結果は2006年春の物理学会等で報告する予定である。

EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.

ビームタイム開始直後に計2シフト分程度加速器トラブルでビームのでない時期があったが、その後は順調であった。

COMMENTS